

会長表彰

2010 年(平成 22 年) 6 月 24 日

板 垣 恒 夫

(森林部門)



1. 略歴

技術士登録(S62)	支部会計監事(H21～現在)
(社)日本技術士会入会(H11)	森林部会道支部事務局次長(H3～H13)
センター理事(H5～H18)	森林部会道支部監査委員(H14～現在)
支部幹事(H19～H20)	

2. 会長表彰を受賞して

この度、北海道支部から推薦していただき、会長表彰を授与させていただきました。誠に有り難いことです。この表彰と一緒に委員会や研究会で活動してきた仲間のなかからたまたま私が代表していただいたと理解しています。

私が技術士試験に合格したころは、技術士登録が簡単に出来ませんでした。「兼業」の法的解釈がそうさせたのでしょう。技術士会北海道支部と技術士センターの繋がりを「卵の黄味と白味」の関係で解説した当時の佐々木会長のお話がおもしろかった。技術士や技術士会の社会的認知が高まるにつれて、働き盛りの技術者がたくさん合格するようになり、北海道支部が賑やかになった。委員会や研究会が活発になり、北海道支部は全国の支部会の先頭を走っています。まだまだ課題はたくさんあります。今後も、そんなお手伝いができればと思います。よろしくお願い致します。

松 井 義 孝

(建設部門)



1. 略歴

技術士登録(S62)	技術交流研究会代表(H15～現在)
(社)日本技術士会入会(S62)	センター理事(H7～H14)
広報委員会委員長(H9～15年)	支部幹事(H15～現在)
防災委員会副委員長(H12～現在)	

2. 会長表彰を受賞して

この度、北海道支部のご推薦により、会長表彰をいただきました。関係各位ならびに支部会員の皆様に、心より御礼申し上げます。

私は、昭和 61 年度の技術士二次試験に合格いたしました。即、当時の広報委員長から、「日本技術士会に入会して支部の広報委員会に來なさい」といわれ、使い走りに奔走し幹事、委員長まで 18 年間関わらせていただきました。平成 7 年には阪神・淡路大震災を契機に現在の「防災委員会」を設立し、これも幹事長、副委員長と現在まで 15 年間関わり、さらに今、本部防災支援委員会副委員長をもやらせていただいております。おかげさまで、これまでに北海道内はもとより、全国に多く仲間と知り合え大きな財産となっております。今後も、皆様と技術士会の発展を祈念し、更なる努力をして参りたいと存じます。